

5	下水道局	良好な水環境と環境負荷の少ない都市を実現する施策																												
事業概要	<p>隅田川(両国橋付近)の水の約 6 割、多摩川の中流域における水の約 5 割が下水処理水であり、良好な水環境の実現に向けて下水道が果たす役割は大きい。</p> <p>都民が水と親しむことができる快適な水辺空間の創出を目指して、合流式下水道の機能を強化する取組や赤潮の発生要因となるちっ素やりんを削減する高度処理を積極的に推進していく。</p> <p>また、下水道サービスを安定的かつ持続的に提供していくにあたり、下水道事業を取り巻くエネルギー使用の現状と課題を踏まえ、下水道事業によるエネルギー活用の高度化及びエネルギー管理の最適化を図る。さらに、下水処理に伴い発生する温室効果ガスについて、新たな技術の開発・導入などによる計画的な削減などにより、水質改善と省エネルギーの両立を図り、環境負荷の少ない都市の実現に貢献していく。</p>																													
これまでの経過	<p>【合流式下水道の改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流れの少ない河川区間など 14 水域での対策を平成 41 年度までに完了するため、地元区や再開発事業者などとの連携を強化し、貯留施設などの整備を加速 ・雨天時下水を効率的に処理するため、高速ろ過施設を水再生センターで整備 <p>【高度処理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期導入が可能で、電力使用量を増やさず水質改善ができる準高度処理施設の整備を加速 ・省エネルギー化技術を積極的に導入しながら、再構築などにあわせて効率的に高度処理を導入 ・水質改善と省エネルギーの両立を図る新たな高度処理の開発完了 <p>【エネルギー対策・地球温暖化対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道サービスを安定的かつ持続的に提供していくため、下水道事業初のエネルギー基本計画「スマートプラン 2014」を策定 ・下水道事業で使用する総エネルギーに占める再生可能エネルギー等（再生可能エネルギー＋省エネルギー）の割合を 2024（平成 36）年度までに 20%以上とすることを目指す ・「アースプラン 2010」に基づき、省エネルギー型の機器の導入などの取組を推進し、温室効果ガス排出量を削減 																													
現在の進行状況	<p>【合流式下水道の改善】</p> <table border="1" data-bbox="309 1317 1359 1431"> <thead> <tr> <th>区部下水道事業の取組</th> <th>単位</th> <th>目標数値</th> <th>平成 25 年度末</th> <th>平成 26 年度末(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>降雨初期の特に汚れた下水を貯留する施設の貯留量</td> <td>万 m³</td> <td>170</td> <td>103</td> <td>114</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度の主な内容 芝浦水再生センター雨天時貯留池など <p>【高度処理】</p> <table border="1" data-bbox="309 1509 1359 1624"> <thead> <tr> <th>区部下水道事業の取組</th> <th>単位</th> <th>目標数値</th> <th>平成 25 年度末</th> <th>平成 26 年度末(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度処理施設又は準高度処理施設の能力</td> <td>万 m³/日</td> <td>634</td> <td>166</td> <td>174</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度の主な内容 葛西水再生センターの準高度処理施設など <p>【エネルギー対策・地球温暖化対策】</p> <table border="1" data-bbox="290 1702 1334 1856"> <thead> <tr> <th>下水道事業の取組</th> <th>目標数値</th> <th>平成 25 年度末</th> <th>平成 26 年度末(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総エネルギー使用量に対する再生可能エネルギー等の割合</td> <td>平成 36 年度までに 20%以上</td> <td>5%</td> <td>7%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度の主な内容 森ヶ崎水再生センターメガワット級太陽光発電設備など 		区部下水道事業の取組	単位	目標数値	平成 25 年度末	平成 26 年度末(見込)	降雨初期の特に汚れた下水を貯留する施設の貯留量	万 m ³	170	103	114	区部下水道事業の取組	単位	目標数値	平成 25 年度末	平成 26 年度末(見込)	高度処理施設又は準高度処理施設の能力	万 m ³ /日	634	166	174	下水道事業の取組	目標数値	平成 25 年度末	平成 26 年度末(見込)	総エネルギー使用量に対する再生可能エネルギー等の割合	平成 36 年度までに 20%以上	5%	7%
区部下水道事業の取組	単位	目標数値	平成 25 年度末	平成 26 年度末(見込)																										
降雨初期の特に汚れた下水を貯留する施設の貯留量	万 m ³	170	103	114																										
区部下水道事業の取組	単位	目標数値	平成 25 年度末	平成 26 年度末(見込)																										
高度処理施設又は準高度処理施設の能力	万 m ³ /日	634	166	174																										
下水道事業の取組	目標数値	平成 25 年度末	平成 26 年度末(見込)																											
総エネルギー使用量に対する再生可能エネルギー等の割合	平成 36 年度までに 20%以上	5%	7%																											
見通し	<p>各施策の事業については、経営計画 2013 に基づき着実に推進していく。</p>																													
問い合わせ先	下水道局 計画調整部 事業調整課	電話 03-5320-6597																												

